

枚方市学校給食会

第1回学校給食費検討特別委員会 会議録

令和7年9月1日作成

開催日時	令和7年9月1日（月曜日） 15時00分から 16時10分まで
開催場所	輝きプラザきらら5階会議室（地域活性化支援センター）
出席者	会長：齋藤委員、副会長：井上委員 委員：木場委員、樺山委員、墨川委員、山田委員、上杉委員、 藤田委員
欠席者	金子委員、岩國委員
案件名	1. 諮問 2. 委員会の運営等について 3. 学校給食費に関する現状報告
提出された資料等の 名 称	1. 学校給食費検討特別委員会設置要項 2. 学校給食費検討特別委員会委員名簿 3. 諮問書 4. 学校給食費検討特別委員会の会議運営及びスケジュールについて（案） 5. 学校給食費の状況 6. 給食費改定（事務局案）
決定事項	
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の 別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	-人

発言者	審議内容
事務局	1. 開会 ただ今より、第1回学校給食費検討特別委員会を開会する。
理事長	2. 開会あいさつ 学校給食費については、平成27年の改定以来、月額3,800円にて運営しているところだが、近年の物価高騰の影響の軽減のための物価高騰分の補助、また子育て世帯の経済的な負担軽減のための給食の無償化に取り組んできた。また国における小学校給食費無償化について方向性が合意されている。 本委員会は、このような状況の中で、今後の給食費のあり方について審議いただくため設置したもの。 本市の学校給食の充実、発展のため、様々な角度から忌憚のないご意見をいただきたい。
事務局	3. 委員及び事務局紹介 【委員紹介】 本日は、10名の委員のうち、8名が出席し、設置要項第5条第2項に基づき会議が成立している。 4. 正副委員長の選出 ※出席委員の互選により、会長には斎藤委員、副会長には井上委員がそれぞれ選出。 5. 正副委員長あいさつ
会 長 副会長	
理事長	6. 案件（1）諮問 【理事長より委員長へ諮問書を手渡し】 学校給食費検討特別委員会 委員長 斎藤博 様 枚方市学校給食会 会長 谷元紀之 【諮問書（主文）】 枚方市立小学校における給食事業の円滑な運営及びその充実を図るため、学校給食費検討特別委員会設置要項第2条の規定により下記の事項について諮問します。 【諮問事項】 「今後の学校給食費のあり方について」

	・学校給食費の改定の要否とその理由 ・学校給食費の改定を行う場合、改定の時期と改定する額 ・その他、学校給食費に関する重要事項
委員長	6. 案件（２）委員会の運営等について これから、どのような形で審議を進め、意見を集約していくのか。とりわけ答申の時期について確認しておくことが必要。案件「（２）委員会の運営等について」について事務局より説明を求む。
事務局	【資料４説明】
委員長	事務局から給食費を改定する必要があるとの説明があったが、改定の必要性について何か意見はあるか。 ※意見等なし 給食費の改定を進めることについて意見がないということでよいか。 ※意見等なし 続きまして、案件「（３）学校給食費に関する現状報告」について事務局より説明を求む。
事務局	【資料５説明】
委員長	事務局からの説明につきまして何か質問はあるか。 ※質問等なし
委員長	事務局として、具体的な改定案、特に改定額などについて腹案はあるか。
事務局	【資料「事務局案」説明】
委員長	事務局からの説明につきまして何か意見や質問はあるか。
委 員	給食の献立作成にあたって、金額面でパンや魚の種類が制限されているなど、現時点でも選択肢が少ない状況と聞いている。改定は必要であり、少なくとも府の平均の金額は必要だと思う。 実際に献立の作成にあたっている他の栄養士の意見も聞いてみたい。
委 員	物価がこれから安くなることはないと思う。金額は多めにした方が良いのでは

	ないか。
委 員	給食費はもちろん高く設定している方が望ましいが、府内自治体や同規模の自治体の中での比較で高水準な金額というのも設定しにくい。また、金額を上げすぎることや給食費の余裕を持たせることは、税金を使うことなので、市や国の理解が得られるか、方針として正しいことかどうかとも懸念される。
委 員	今まで給食費を改定してこなかった理由は？
事務局	コロナの影響等による物価高騰や燃料費高騰の中で、子育て世帯の負担を増やさないという点を重視した。補助金も活用できたことだったので、必要な栄養量を確保した献立を提供できると判断し、給食費の改定までは行ってこなかった。
委 員	改定時期については、事務局案では予算編成までに改定案を確定し、来年度 4 月から改定とのことだが、検討期間が短いのではないか。
委 員	国の補助金の支給対象がどのようになるかが未定だが、今までの節約の方法など工夫した部分も残していく方がいいと思う。安全な給食の提供が第一であり、食育の観点からも様々な献立や食材を提供するのも理解できるが、あれもこれもやるのは給食費としては高くなりすぎてしまうのではないか。
委員長	頂戴した意見をまとめる。 改定時期については、来年度 4 月からの実施となる A 案を中心とするが、検討委員会での検討期間が 1 ヶ月と短いのではないかという指摘があった。財政部局と調整の上、可能な限り議論時間が取れるよう、スケジュールを調整する。 改定金額については、現在の改定案や委員の意見だと余裕を持った金額の設定となるが、大阪府内の他市町村と比較すると高額な部類となる。今年度の米の高騰分が反映されていない給食費とのことだが、現時点での他市町村との比較も必要と思う。また、金額についても財政部局との調整が必要。 付帯意見についてはどうか。
委 員	栄養士としては、米飯回数を増やしたいと思っているが、炊飯委託が市の契約であり、予算や契約の関係上、急に増やすのは難しいと聞いている。
事務局	まずは、物価高騰分を踏まえた今回の給食費の改定が必要で、米飯回数の増加についてはその先の議題という認識である。
委 員	給食の品数で、3 品あるようにしているが、2 品＋ゼリーなどの個包装のものの日があり、少し寂しく感じるときがある。3 品は 3 品を確保していただければありがたい。

委 員	給食が無償化されているが、保護者の関心が少し低くなっているのではと感じている。給食費が上がることで、子どもたちによりよい給食が提供できるなど、理解が得られるような広報も必要と考える。
委員長	頂戴した意見をもとに、答申書のたたき台を作成して、次回会議で提出する。次回会議の日程の案はあるか。
事務局	当初の予定では９月下旬か１０月上旬に実施する。また日程調整を行う予定をしている。